

補助金の対象給湯設備

	ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	ハイブリッド給湯機	家庭用燃料電池 (エネファーム)
エネルギー源	電気	電気・ガス	ガス
特徴	圧縮すると温度上昇し膨張すると温度が下がる、 <u>気体の性質を利用して熱を移動させるヒートポンプの原理を用いてお湯を沸かし、タンクに蓄えるもの。</u>	<u>ヒートポンプ給湯器とガス給湯器を組み合わせ</u> てお湯を作り、タンクに蓄えるもの。二つの熱源を用いることで、より高効率な給湯が可能。	都市ガスやLPガス等から作った <u>水素と空気中の酸素の化学反応により発電</u> するとともに、 <u>発電の際の排熱を利用してお湯を沸かし、タンクに蓄えるもの。</u>
価格 (機器+工事費)	55万円程度	65万円程度	130万円程度
主な補助額	10万円/台 ※昼間の余剰再エネ電気を活用できる機器	13万円/台 ※昼間の余剰再エネ電気を活用できる機器	20万円/台 ※レジリエンス機能を強化した機器
商品イメージ	 <p>出所) 三菱電機</p>	 <p>出所) リンナイ</p>	 <p>出所) アイシン</p>
追加措置	蓄熱暖房機*、電気温水器を撤去する場合		
	+ 8万円 (蓄熱暖房機) + 4万円 (電気温水器) *:蓄熱レンガを電気で温め、放熱することで部屋を暖める器具。		

高効率給湯器導入補助金における補助額

- ① 住宅に高効率給湯器(※)を導入する場合、機器・性能毎に一定額を補助
 (戸建住宅：いずれか2台まで 共同住宅等：いずれか1台まで)

※ 省エネ法に基づくトップランナー制度における省エネ基準を満たすもの等に限る。

A：昼間の余剰再生エネ電気を活用でき、インターネットに接続可能な機種

B：補助要件下限の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ない機種、または、おひさまエコキュート

C：ネットワークに接続可能で、停電が予想される場合に、稼働を停止しない機能を有する機種

	ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)		ハイブリッド給湯機		家庭用燃料電池 (エネファーム)	
	補助額	基本額	6万円/台	基本額	8万円/台	基本額
A		10万円/台	A or B	13万円/台		
B		12万円/台	A & B	15万円/台	C	20万円/台
A & B		13万円/台				

それぞれの補助額に該当する具体的な対象設備は後日公表予定

- ② 高効率給湯器の導入と併せて蓄熱暖房機、または、電気温水器を撤去する場合、以下の補助額を加算

	蓄熱暖房機	電気温水器
加算額	8万円/台 (上限2台まで)	4万円/台 (①で補助を受ける台数まで)

※赤字箇所が前年からの変更箇所